

どくりつぎょうせいほうじんみずしげんきこうふくおかどうすいそうごうじぎょうしよ
独立行政法人水資源機構福岡導水総合事業所
かつすいたいさくほんぶ かいさん
渇水対策本部の解散について

本日、7月29日（月）17時00分に「独立行政法人水資源機構福岡導水総合事業所渇水対策本部」を解散します。

【渇水対策本部の解散理由】

- ① 筑後川水系では、7月17日（水）から21日（日）にかけて、梅雨前線及び台風5号の影響による断続的な降雨により筑後川の流況が回復傾向にあります。
- ② 福岡地区水道企業団並びに佐賀東部水道企業団に水道用原水を供給する福岡導水の水源のうち、水資源機構が管理する江川ダム、寺内ダム及び大山ダムでは、この断続的な降雨により、7月29日（月）0時時点で各ダムの貯水量は、江川ダム及び寺内ダムにあつては23,577千m³（貯水率71.4%）で平年の80%、大山ダムにあつては11,000千m³（貯水率100.0%）で平年の100%まで回復しております。
- ③ 筑後川の流況が回復傾向にあることから、筑後川水系渇水調整連絡会が7月25日（木）午後0時をもって解散し、福岡地区水道企業団並びに佐賀東部水道企業団は、7月29日（月）17時00分に渇水対策本部を解散することとしています。

このことから、福岡導水総合事業所は、7月29日（月）17時00分に渇水対策本部を解散します。

今後、まとまった降雨がない場合、再び水源状況が厳しくなることも予想されることから、関係機関と緊密に連携し施設の適切な運用、水源情報の提供等に努めてまいります。

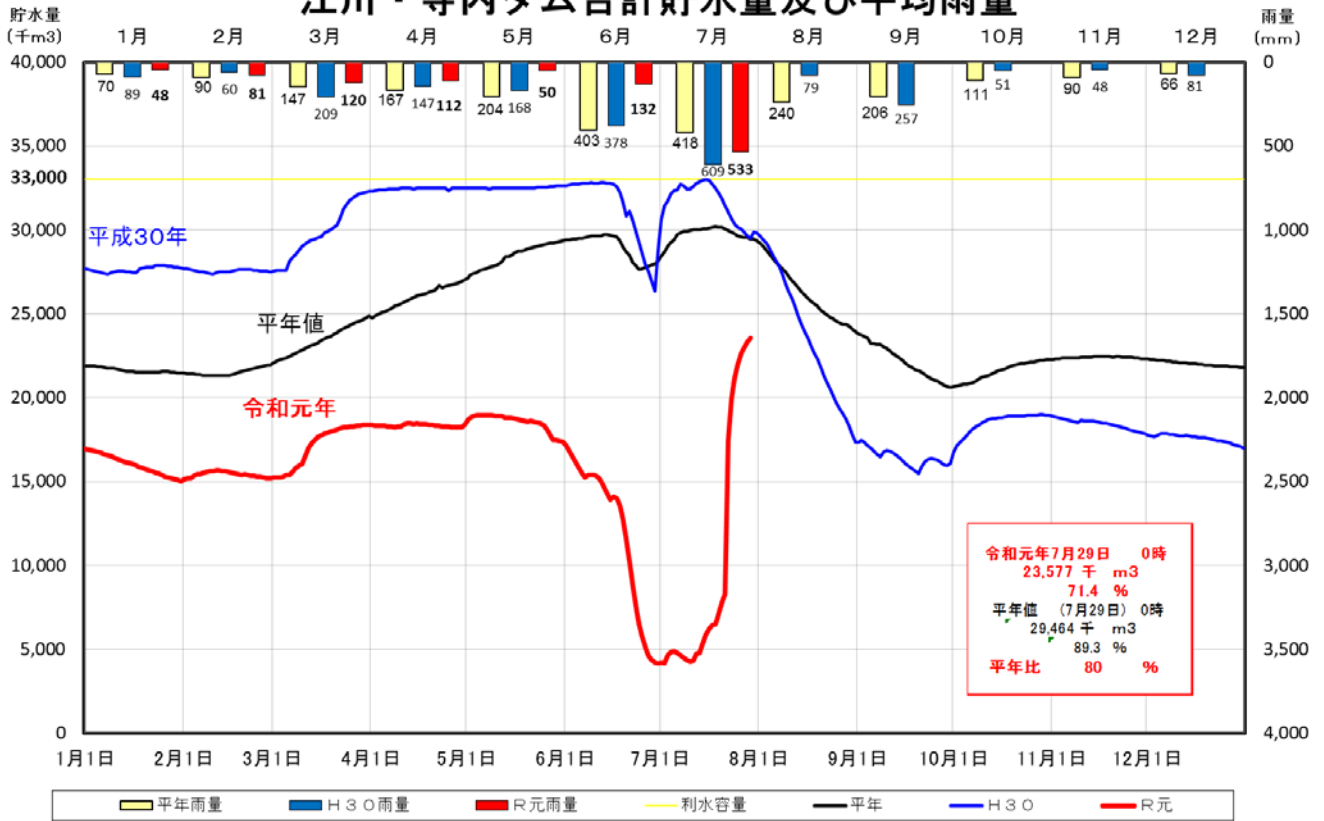


令和元年7月29日
独立行政法人水資源機構
福岡導水総合事業所

配布先
国土交通省九州記者会 九州建設専門記者クラブ 久留米市政記者クラブ 佐賀県政記者クラブ

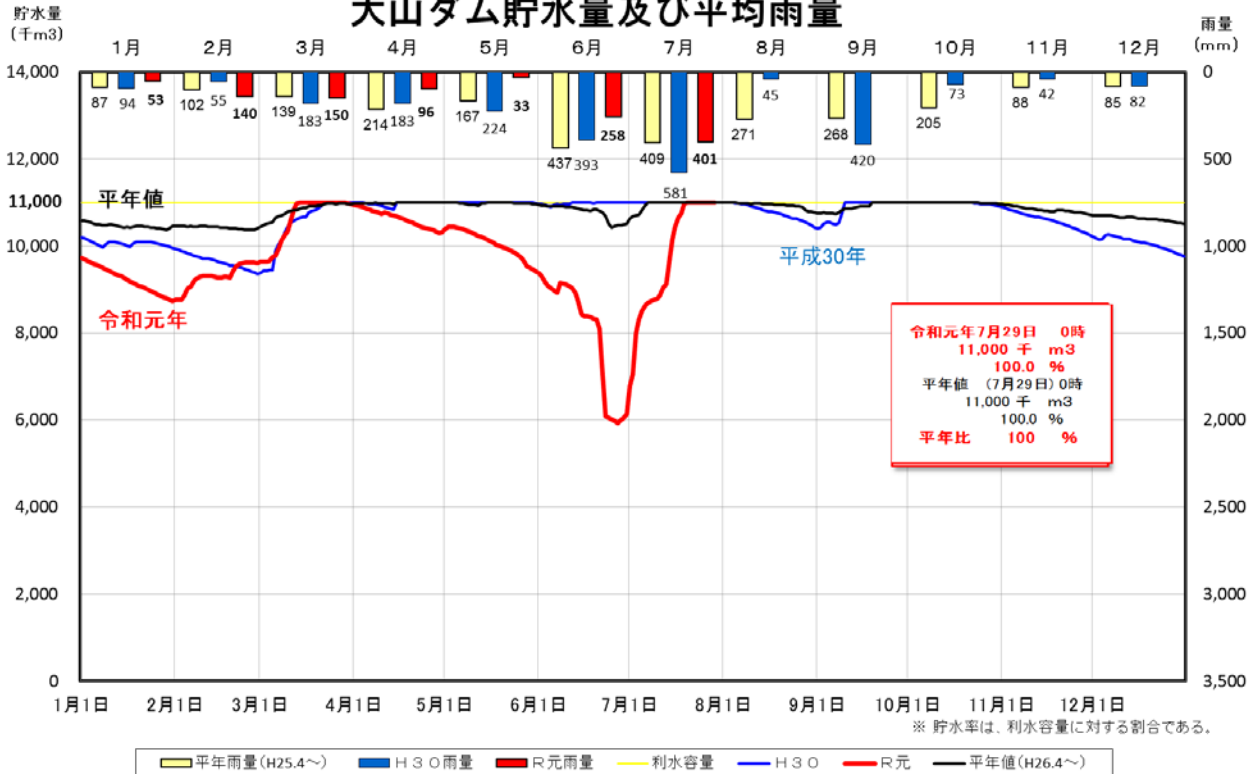
問い合わせ先
独立行政法人水資源機構 福岡導水総合事業所 総務課長 花田（はなだ） 管理課長 山本（やまもと）
住所 : 福岡県久留米市高野1丁目1番1号
電話 : 0942-39-4311（代表）

江川・寺内ダム合計貯水量及び平均雨量



※ 平年雨量及び平年貯水量は、管理開始以降(江川S50. 4~前年 寺内S53. 6~前年)それぞれの平均値である。
 ※ 貯水率は、利水容量に対する割合である。

大山ダム貯水量及び平均雨量



※ 平年雨量及び平年貯水量は、S53. 6~前年)それぞれの平均値である。

※ 貯水率は、利水容量に対する割合である。